

第 12 回九州 MIST 研究会
プログラム
2023 年 9 月 9 日 (土) アクロス福岡

13:30-15:00

座長：横須賀 公章 先生 (久留米大学 整形外科)

<一般演題> 9 演題

『当院のヘルニコア症例の検討』

佐賀大学 整形外科 伊藤 勇人 先生

『頰椎前方固定におけるケージ形体別の放射線学的経過の検討』

長崎大学 整形外科 相良 学 先生

『当科における低侵襲な腰椎外側病変の治療成績の検討』

福岡みらい病院 整形外科 柳澤 義和 先生

『下位腰仙椎固定術後の変性後側弯症に対して、

LLIF+all PPS を用いて矯正した 1 例』

春陽会中央病院 整形外科 関屋 辰洋 先生

『当科における椎間板内酵素(コンドリナーゼ)注入療法の治療成績』

宮崎大学 整形外科 高橋 巧 先生

『当院において治療に難渋した胸腰椎移行部椎体骨折症例の検討』

久留米大学 整形外科 中江 一朗 先生

『L5/S1 腰椎の interlaminar window の大きさ

-女性患者の方が脊椎内視鏡下手術は容易なのか?-』

九州中央病院 整形外科 泉 貞有 先生

『後方骨片を伴う胸腰椎破裂骨折に対する ligament taxis を利用した closed reduction の有用性の検討』

福岡記念病院 整形外科 松原 庸勝 先生

『MIST で治療を行った非定型抗酸菌性脊椎炎の 1 例』

成尾整形外科病院 整形外科 田畑 聖吾 先生

※順不同で行います。

<休憩> 15:00-15:10

15:10-16:30

座長： 濱中 秀昭先生（宮崎大学 整形外科）

特別講演 1

『破壊性脊椎疾患（骨粗しょう症を含めた）に挑むー脊椎外医の trial and errorー 』中西 一夫 先生（川崎医科大学）

特別講演 2

『最小侵襲脊椎治療の最前線～ 仮想現実 VR /人工知能 AI を駆使した骨粗鬆症性椎体骨折の治療戦略～』 佐々木 寛二 先生（聖隷浜松病院）

<休憩>16:30-16:40

16:40-18:00

座長: 山田 晋司 先生（産業医科大学 整形外科）

特別講演 3

『 long fusion を回避するのは小侵襲か無謀か』

篠原 光 先生（東京慈恵会医科大学）

特別講演 4

『骨粗鬆症の病態の理解と治療戦略 ～診療報酬改定を含めて～ 』

宮本 健史 先生（熊本大学大学院生命科学研究部 整形外科学講座 教授）